

「挾間史談会誌 第九号」の発刊にあたつて

会長 二宮修二

前回の会誌発行からやや長い間隔があきましたが、今回は第九号が発刊されることになりました。この間も途絶えることなく皆さんの郷土に対する研究・関心は続いてきました。江戸時代の貨幣である金や銀の価値やその流通、米など郷土における生産の状況など多くの事を研究討議してまいりました。挾間史談会の研究成果であるこの冊子は、大分県立図書館や由布市教育委員会各学校、由布市立図書館、各学校など関係機関に寄贈し展示され。何時でも閲覧できるようになっています。

どうか史談会員の研究内容を、そして挾間町の歴史を断片的とはなりますがご覧いただければ幸いです。

研究を進めている中で、挾間町誌をもう一度見直していく活動が必要なのではないかとの意見も出ています。

皆様のご意見をお聞きしたいと思います。そのために、多くの人の関心を高め、また、多くの人に会員になつていただきたいと思っています。最後になりましたが資金を提供してくださった皆様に厚くお礼を申し上げます。